

富津市学校給食運営委員会議 会議録

1 会議の名称	令和元年度第2回富津市学校給食運営委員会議
2 開催日時	令和元年12月18日(水) 15時01分～16時13分
3 開催場所	富津市役所本庁2階 202会議室
4 審議等事項	(1) 富津市学校給食共同調理場整備基本構想(素案)について (2) その他
5 出席者名	(委員) 川名泰、川名賢、千倉淳子、田中計、泉澤由和、庄司憲仁、八戸重之、石塚弓子 (事務局) 岡根教育長、笹生教育部長、須藤教育部参事、細谷学校教育課主幹、鈴木給食係長、岡本共同調理場長、播岡主事、川名非常勤職員
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当(理由)
8 傍聴人数	1人(定員5人)
9 所管課	教育部 学校教育課 給食係 電話 0439(80)1343
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

令和元年度第2回富津市学校給食運営委員会議 会議録

発言者	発言内容
鈴木係長	<p>令和元年度第2回富津市学校給食運営委員会を開会する。 本日は、委員8名出席なので、富津市学校給食調理場管理運営規則第11条第2項の規定により会議が成立する。 また、本会議の内容については、富津市情報公開条例第23条の規定により公開となる。</p>
岡根教育長	<p style="text-align: center;">【教育長挨拶】</p>
鈴木係長	<p>第2回の会議となるため、委員の氏名等は席次表により確認をお願いします。 会議次第2議題に移る。 本会議は、富津市学校給食調理場管理運営規則第10条第1項に「委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。」と規定されており、前回会議において川名泰委員を委員長に、川名賢委員を副委員長に選出されている。富津市学校給食調理場管理運営規則第11条第1項の規定により委員長が議長となるため、会議の進行をお願いします。</p>
川名委員長	<p style="text-align: center;">【委員長挨拶】</p>
川名委員長	<p>本日の議事録署名人は庄司委員にお願いします。 議題（1）共同調理場の基本構想についてだが、前回の会議の資料にもあり、昨年の会議においても提示されている。その後進展があったということである。 議題（1）富津市学校給食共同調理場整備基本構想（素案）について事務局の説明を求める。</p>
鈴木係長	<p>議題（1）富津市学校給食共同調理場整備基本構想（素案）について説明する。 前回、前々回と同じ構成のものを資料として配布している。今回、最終という形にしたいと考えている。確認も兼ね、ページごとに要点を説明する。 1 ページ目、背景についてであるが、平成26年に定めた施設整備の指針、単独調理場の統合を経た現在の状況、学校給食衛生管理基準の改定、近隣自治体の状況、及び平成29年の当委員会からの提言について触れ、記載している。中でも大事な点として、学校給食法に基づいた文部科学省の省令である学校給食衛生管理基準が平成21年4月に改訂、施行され、以前より厳しい衛生管理が求められるようになった。周辺の自治体でも新しい基準に則した施設の整備が進んでいる。例えば、君津市では今年度から1か所の共同調理場で</p>

給食を実施しているが、元にあった3施設は昭和40年代後半に建設されており、各地でその頃に建てられた施設が更新の時期を迎えている。

続いて2ページ及び3ページ、調理場の現状と課題についてである。現在市内3施設の現状について、衛生管理基準を満たしていないこと等の課題について触れている。新しい施設の建設を見据えた記載になるが、今の調理場においても、改修し実際の運用上により部分的ではあるが新しい基準にできるだけ準じた作業となるようにしている。

調理場でのアレルギー対応については、現在は対応しておらず、詳細な献立情報の提供、弁当の対応、牛乳については除去という対応になっている。

続いて4ページ、提言書についてである。平成29年11月に当委員会から提出された提言書の要旨を記載している。新調理場での機能としては①から③の3点である。建設場所については市有地から選択をすることになっている。これを踏まえ、1か所に集約した調理場を建設するということが提言書に記載されている。

続いて5ページ、基本構想における施設の基本的な考え方である。5の(1)施設内容であるが、先の提言書の内容を受けた形になっている。

④調理能力について、最大3,000食という想定だが、凡そ500食刻みで施設の設備や内容が変わってくるため、2,500から3,000食の施設を検討している。今年度現在では児童・生徒数は2,550人、調理員や教職員も含めると、今年度は1日あたり約2,900食弱を3か所の調理場で製造している。令和5年度の予測では、児童・生徒数は2,300人台、職員等が200人の約2,500人程度になると思われる。

なお、施設の規模は、延べ床面積1,350平方メートルとしているが、これは現調理場3か所の合計面積と同等以下の規模にするためである。建物が1,350平方メートル、その3倍程度の土地が必要となるため、全体として4,100平方メートル程度の想定をしている。

5ページ下から6ページにかけ、現実的な候補地3か所を掲載している。1つ目が本庁北側にあり、現在空き地になっている場所であり、教育福祉施設というものの建設予定地である。2つ目が飯野コミュニティセンター隣であり、飯野小学校に非常に近く、空き地の市有地である。3つ目は佐貫中学校運動場跡地であるが、本年度いっぱい佐貫中学校が閉校となった後の利用である。それぞれの候補地について考えられるメリット、デメリットを掲載している。トータルし、候補地としての評価を二重丸、丸、三角の記号で示している。

続いて7ページ、施設のイメージである。延床面積の中に必要なものを入れただけであり、敷地の条件である形や道路などは考慮していない。新しい施設であるため、こういった図面で見ても部屋数

	<p>や仕切りが非常に多く、肉魚、野菜類などの経路が交わらないように入口の時点から別々の受け口になっている。なお、現在の施設では検収口が1つであり、調理場内も仕切りがない状態である。しかし、保管の冷凍庫や冷蔵庫、同じ部屋での作業であっても調理に使用する道具は分けて使用するなど、部分的に基準を守るよう運用している。</p> <p>続いて8ページも同様の例であり、食数に応じた配置のサンプルである。真ん中右に7台並んでいるものが回転釜であり、食数に応じてこのあたりが変わってくる。大体1釜400から500食程度の計算である。炊飯設備をこの計画には入れていないのは、この広さだと炊飯設備は収まらないためである。</p> <p>8ページの下部分が概算の工事費である。建築面積から計算し、市の中期財政計画に掲載している数字と同じ額であり、目安としている。</p> <p>最後に9ページが施設整備のスケジュールについてである。本年度の基本構想から、施設の詳細、検討、基本計画などの手順があり、最終的には令和5年度の供用開始というスケジュールになっている。</p> <p>以上が素案について、一通りの説明となる。今までのものと比較し、5ページ及び6ページが新たに掲載された部分である。</p>
川名委員長	<p>議題(1)についての説明が終了した。 1から5ページ目までの部分で意見はあるか。</p>
庄司委員	<p>質問になるが、4ページの提言書(1)③食育推進との連携だが、食育指導ができる調理場見学スペースや調理室等を整備するとなっているが、7・8ページのイメージ図ではどのあたりになるのか。</p>
鈴木係長	<p>食育推進や見学が想定されていたが、限られた面積の中での設計であるため、このイメージ図では見学に用いるスペースを入れられない。例えば外からガラス越しに見学したりといった工夫は可能と思われるが、限られた範囲でとなってしまう。</p>
笹生部長	<p>補足になるが、施設規模が現3施設を基準として補助金を使用するため、施設規模の大きさに制限があり、ある一定の範囲内である必要がある。食育については、現在も栄養教諭や栄養士が行っているため、そのチャンネルで充実させていく。</p>
川名委員長	<p>提言書は受けたが、このままの形では実現が難しいというところか。できるだけ努力した結果がこういう形になった。ただ、食育に関しては直接学校に栄養教諭が出向いて、いろんな指導をしてくれるということによいか。</p>

岡根教育長	<p>センターという大きな組織になると、学校からどの程度の距離があるかということもある。単独調理場だと学校のそばにあるが、それでも入ることはできない。やるにしても、見学スペースなどガラス張りにして作っているところを見せるしかできない。それがどのくらいの効果があるのかと考えたときに、この食べ物はこういう栄養素があり、こういう風に調理したかと説明するときに調理場の見学という方法があるが、他の分野で食育については充実させ、直接栄養教諭や先生が指導する中で食育を推進することが望ましい。残念ではあるが、非常に厳格な補助金の関係があるため、この施設を作るときに見学スペースを作るより、違うところを充実させざるを得ない状態である。来て見てもらうような見学ルートがあればまた違うだろうが、それは難しいというのが現実である。</p>
千倉委員	<p>予算や補助金の制限がある中、提言書で受けたができない部分があるというのは仕方がないが、説明は入れるべきである。他にも、提言書にはあったが、今の段階でできない、別の形に変えたというものはあるのか。</p>
岡根教育長	<p>4 ページ、機能については、衛生管理の徹底はこのとおりである。食物アレルギーについては、すべてのアレルギーには対応はできない。確実に除去できるのはせいぜい1種か2種である。提言書ではすべてのアレルギーに対応するような形になっているが、難しいというのが現実である。食育との連携、見学スペース等については先程の説明のとおり設置は難しい。それ以降の規模や建設に関してはそのとおりである。この基本構想にこのことを注釈に入れ、構想としたいがいかがか。</p>
千倉委員	<p>是非そうしていただきたい。議会に提出されるときにはどうしようもない状態で提出される。それに反対をするということは予算から何から見直すことになる。ここで決まったことがそのまま出ていくため、しっかり書かれていないと市民に聞かれたときに困ってしまう。明らかに提言書が読めるところにあり、実際のもので出来上がったときに、その間を埋める提言書から変わったところを委員に説明し、了承されたという流れを見える形で示すと、委員としても納得できるし、市民に対しての話もできる。可能な限り詳細に記載をしていただきたい。</p>
岡根教育長	<p>場所的には5 ページの施設の基本的な考え方のところ、注釈を入れ、このような状況に整備をする、これはできないということを記載する。</p>
川名委員長	<p>理想と現実の間で、なるべく理想に近づくようにしていただきたい。</p>

	<p>5 ページの候補地について、まずは市役所北側からなにか意見はあるか。</p>
田中委員	<p>児童・生徒の多い富津地区に近いほうがよいと思う。児童・生徒数を天羽地域と比べると4：1程度の差があると思う。</p>
	<p>市役所北側は福祉・教育施設建設予定地となっているが、その予定はどの程度決まっているのか伺いたい。</p>
笹生部長	<p>平成22年度に複合施設の案があり、図書館機能、福祉機能、保健機能の3つの要素がある。図書館機能においては、既存のほかの施設の利用や、図書サービスを違う部分で充実させていくところで、新たな建設ということではない。福祉機能と保健機能については、まだ正式な決定がない。当初の複合施設の計画としては、すでにそのままでの実施はできないこととなっている。</p>
川名委員長	<p>予定地を外れたということか。</p>
笹生部長	<p>そのとおりではあるが、残地のほうが大きいため、保健と福祉に関してはまだ余地がある。</p>
川名委員長	<p>面積は広く、2つ建てても大丈夫な広さがあるということによいか。</p>
笹生部長	<p>複合施設のため、そもそもが1つの建物であるため、どういう形状になるかはわからないが、面積的には十分なスペースがある。</p>
千倉委員	<p>『都市ガスの供給範囲のためランニングコストの削減ができるうえ、地震等の影響を受けにくい』との記載があるが、災害時はプロパンガスのほうが強いと聞いたが、逆ではないのか。</p> <p>また、天羽地域まで行くのに市役所北側から行くのか、国道沿いから行くのかでは時間や信号、混み具合でだいぶ時間が変わらと思う。運搬の距離を考えたときに、中へ入れてしまうのはどうなのか。災害があったときも狭い道に入るより広い道すがらにあったほうが何かと対応が利くと思う。『災害時の対応が検討できる』とあるが、市役所北側はあまり便が良くないのではないか。</p>
笹生部長	<p>ガスの供給についてだが、市役所に引かれた東京ガスの管が、一定量以上の利用がある都合上、中圧管という太い導管を引いている。過去の災害での立証より、阪神淡路大震災や東日本大震災クラスでも影響はなかった。そうするとガスの中断がないため、止まるということが存在しない。プロパンについては、別途供給経路が必要になり、災害時の混乱等を考えるとプロパンのほうが停止する可能性が高い。例えば災害時においては、ガスを使用した電源設備を</p>

<p>千倉委員</p>	<p>考えている。止まらないエネルギー供給が保証されると災害には強い側面がプラスされる。</p> <p>配送については物理的な距離になるが、現在道路整備も進めており、そういったものも含め、太い道路は127号を行き、細くなるが別のルートも存在し、天羽小学校まではここから20から25分程度で配送できると考えている。なるべく冷めない状況での運搬が可能であると思う。</p> <p>災害の種類によって変わると思う。先日のように停電が長く続くと、プロパンガスの家庭は料理ができるが、大きなところで考えると、ガスは来ているが停電ですべて止まったという状況で、給食センターで作業はできるのか。大きな管があるから安価であるということであれば、給食センターの本質とは別にすべきではないか。規模の小さな2,500食のセンターでこれから少子化に合わせいいものを作ろうとしたとき、移送などもしやすく困難がない広いところに建ててもよいのではないか。色々な施設が富津地区に集まってしまうのは便利だと考えるのか。天羽地域から見れば色々な施設が色々な場所にあるほうが、その場所に住む人にとっては安心感や満足感があるのではないか。そういう意味では市役所北側の評価が二重丸ということとは難しいと思う。</p>
<p>笹生部長</p>	<p>新しい衛生基準で建てるには、ガスと電気が両方なければ安定的な給食の提供はできない。プロパンガスだけで賄うのは非常に難しい。</p> <p>配送の距離については、道路自体は広いと認識しているが、距離は物理的なものなので、もう少し中心に近いところがあれば近いほうが良いと思う。</p> <p>ガスについては、家庭のようにガスだけで供給するようなシステムであればプロパンの強みがあるとは言えるが、新しい基準で共同調理場を建てた場合には、ガスだけでは困難である。ある程度の電気供給システムとガスを併用した施設運用が必要になってくると考えられ、都市ガスが劣っていると言い切れるものではない。</p>
<p>鈴木係長</p>	<p>補足になるが、東京ガスに停電をした場合でも都市ガスは止まらないことを確認済みである。大きな地震の場合、震度にもよるが安全装置等で一時的に停止することがあるものの、壊れることはなく、供給は可能であるとのことであった。</p> <p>先の話になるが、来ている都市ガスを使用し発電をする発電機も存在する。都市ガスさえ止まらなければ、車のエンジンのように発電をすることができ、発電の際に発生する熱でお湯を沸かすこともできる。災害の時だけでなく、普段から活用することで、停電時にも備えることができる。病院等の停電してはならない施設でも利用されている。常に調理場のすべての電力を負担することはできない</p>

川名委員長	<p>いため、停電の際にどこまで稼働するのかというのはこの先検討していくつもりである。</p> <p>距離に関しては、市役所北側から一番遠い環小学校が約 17.1 キロで 25 分から 30 分程度になる。</p> <p>災害時には電気、ガス、水のどれが無くなっても困る。条件が揃う場所が一番好ましいと思う。また、子供の数の問題についても、一度に配送できる食缶の数も限られていることから、子供の多い地域に近いほうが効率的ではあるが、食缶が冷めないうちに届くのかという様々な状況がある。</p> <p>続いて、飯野コミュニティセンターに関する意見はあるか。</p>
笹生部長	<p>飯野保育所があり、そこから信号のあたりまでが敷地。飯野小学校側から見ると右奥にコミュニティセンターが建っており、左側の空き地を利用することになる。</p> <p>都市ガスについては、中圧管が来ていないため、引いてこななければならない。我々がお金を払って管を引かななければならないため、評価としては低くなっている。</p>
泉澤委員	<p>意見になるが、佐貫中学校も飯野小学校も同様に、学校のすぐそばに建てるということは、児童・生徒が登校してくる時間帯にセンターの職員が通勤してくることになる。また、登下校の時間でなくても学校によって早く帰る日もあるため、配送のトラックが一齐に出発するなど通行量が増えるというのは好ましくないと思う。佐貫中学校も間に私有地があり、道も狭く歩道もなく、亀沢や宝竜寺から通学する子が危険ではないか。</p>
川名委員長	<p>飯野小学校と佐貫中学校について、他に意見はあるか。</p>
田中委員	<p>ちなみに君津市の調理場はどういう位置にあり、都市ガスなどもどうなっているのか。</p>
鈴木係長	<p>君津市は今年度 4 月から稼働しているが、場所は上総高校の隣にある。</p> <p>都市ガスは距離が長くて管が引けず、プロパンガスを使用している。君津市の職員に聞いたところ、プロパンガスも大量に必要となるため、タンクローリーのような巨大なタンクを敷地内にそのまま置き、2 日に 1 回くらいガスの補給をしているとの話であった。コスト面においても、プロパンガスは多少高いため、都市ガスよりも使用量で考えると高くなっている。</p>
川名委員長	<p>3 つの候補地について意見を聞いたが、その他に意見や質問はあるか。</p>

千倉委員	<p>給食委員会に入ってからずっと思っているが、専門的にやっている人が知っているような知識を私は持っていないため、任せるしかないということは否めない点ではある。だからこそ田中委員の発言にあった、近隣自治体で作ってどういう状態なのか、作ることでコストは下がるけど建設費がすごく上がってしまうのであれば本末転倒である。それはきっちり比べていかなければならない部分である。どの候補地も、どうなのだろうという部分やどうなるのだろうという部分が、これだけしか示されていないのでわからない。</p> <p>泉澤委員の意見にもあったように、学校の近くだと交通の危険性が出てくるだろうと思う。そういったプラスとマイナスを整合してもらい、作る場所をどこかに決めなくてはいけないのだから、先ほどのコスト面についても、稼働してからのコストについては鈴木係長から説明があったが、都市ガスの大きな管がすでにあるが、それを使えるようにするにはどういう設備が必要で、どのくらいの建設費がかかるのか。それと比べたらこれから人口が少なくなっていくうえで、コストは高いと言ったけれども君津市と人数が違っているのであれば、どちらが良いのか、長い話であるが比べていかなければ、私は委員としてどこが良いのかは決められない。心配事としてはこういったところが、決定の際のネックである。</p>
笹生部長	<p>千倉委員の発言のとおり、建設は家庭として都市ガスを使った場合のメリットとして説明をしたが、コスト比較というのは候補地の選定をした後に、全体的に建設に莫大な費用が掛かるのであれば、違う選択もあるということを別のスタンスで行っていかねばならないと考えている。</p>
川名委員長	<p>場所を決めてから、プロパンガスにするのか都市ガスにするのかということも含まれているということか。</p>
笹生部長	<p>そのとおりである。</p>
千倉委員	<p>建設のところになると、教育とは離れた意見があると思うが、この委員会が最初の通過点となるので、次の段階に入ってもここで出た意見は必ず伝え、活かしていくよう強く要望したい。</p> <p>ちなみにここでは必ず3か所のうち1か所の候補地に決めなければならないのか。</p>
笹生部長	<p>申し訳ないが、公共施設は市有地を中心に様々あたって中で、数々の問題があり、調整したうえで候補地として3か所が残った。可能であればこの3か所を候補地として承認してもらいたい。</p>
川名委員長	<p>ほかに質問や意見はあるか。</p>

	<p>事務局提案のとおり、市役所北側を◎、飯野コミュニティセンターを○、佐貫中学校跡地を△とすることに異議はあるか。</p> <p>「異議なし」の声</p>
川名委員長	<p>では、事務局提案のとおり、市役所北側を◎、飯野コミュニティセンターを○、佐貫中学校跡地を△として決定した。</p> <p>次に移る。議題（２）その他について、事務局からの説明を求める。</p>
須藤参事	<p>事務局からは特にはない。</p>
川名委員長	<p>委員の皆さんからこの場で協議したい事項はあるか。</p> <p>特に何も無いため、本日の議事はすべて終了した。</p>
鈴木係長	<p>事務局から今後の会議予定について説明する。</p>
須藤参事	<p>本年度これで２回の会議を開催した。現時点では年度内の開催は予定していないが、今後、新調理場の施設整備の展開により、また給食という児童・生徒の安全に関わる事業であることから、臨時的に開催を案内する可能性があるため、引き続きご協力をお願いします。</p>
鈴木係長	<p>令和元年度第２回富津市学校給食運営委員会を閉会する。</p>